

つばさ新聞



冬本番を迎え、寒さがより厳しくなってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。これからの時期は、風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎など様々な病気が流行ります。手洗いやうがいなどをこまめに行い、お互いに体調管理に努めていきましょう。

さて、今年も多くの患者さまやそのご家族、そして地域の在宅医療を支える皆様と大切な出会いがたくさんありました。求められるニーズを考え、果たすべき責務尽くすべく、スタッフ一同で試行錯誤しながら取り組んでまいりました。努力や気づきの及ばなかった場面もあり反省をしております。来年はその反省を活かしながら、より患者さまの為に、そして地域への在宅医療の発展の為に取り組んでいく所存です。今年には本当にいろいろとお世話になりました。来年もつばさクリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

(院長 中村 幸伸)

医療四方山話 【第2回】

みなさんはプライマリケアという言葉をご存知でしょうか。最近、テレビでも特集されることが多く、家庭医療や総合診療などとも呼ばれています。現在、日本は超高齢化社会を迎え、その人の持っている病気も1つや2つではなく多数の疾患のアプローチが必要になります。そして病気になられた方、またその人の家庭を、そしてその背後にある地域を1個のまとまりあるものとして取り扱うことを期待されています。日本でも2010年に学会がスタートしたばかりで、今後の地域医療を担うことが期待されています。



《医師 山本 昌幸》

つばさクリニックからのお知らせ

※ 年末年始の対応について

12月28日(土)～翌年1月5日(日)までは
定期の訪問診療をお休みさせていただきます。

**ただし、緊急時における往診・相談等は
24時間365日体制で対応しております。**



※ 医療保険や介護保険などの保険証に変更がございましたら、診察時にご提示をお願いいたします。

- 国民健康保険被保険者証
- 高齢受給者証
- 後期高齢者被保険者証
- 限度額適応認定証
- 特定疾患医療受給者証
- 心身障害者医療費受給資格証 など



Dr 岡田の

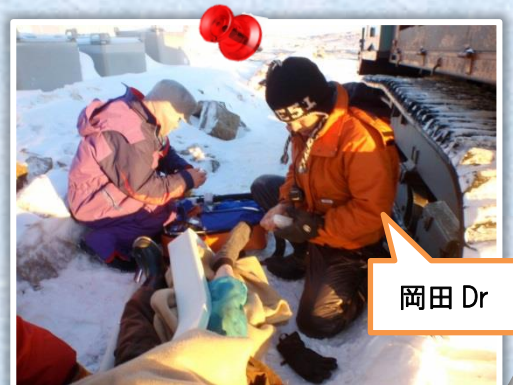
南極物語

第7話：昭和基地の医療環境

日本南極観測隊のベースとなるのが『昭和基地』です。基地には大小60の建物があり、中心にある『管理棟』と呼ばれる3階建ての建物には、隊長室、通信室、食堂、食料貯蔵庫とともに、医務室があります。地球上で最もへき地(過酷な環境)にある南極では重篤な患者が発生しても他の施設に搬送することができないため、全て自分達だけで治療しなくてはなりません。そのため医務室には診察室、入院室、レントゲン室とともに手術室が完備され、いつでも手術を行うことができるような体制をとっています。また胃カメラ、エコー、心電図、血液検査など様々な医療機器もそろっています。ちなみに南極では医者が歯の治療を行うため歯科治療台もあります。幸い私の任期中は、大きな手術を行うことなく任務を終えることができました。南極では医療隊員にとって、出番がない(活躍しない)ことが何よりも喜ばしいのです。



※ 南極基地の手術室です。



岡田 Dr

※ 外で処置をする事もあります。

医療法人つばさ つばさクリニック

診療科目 訪問診療 内科 循環器科 呼吸器科 整形外科

診療曜日 月曜日～金曜日

休診日 土・日曜日 祝祭日

定期訪問 午前9時～午後5時

電話 086-424-0283